

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。



さて、昨年は好景気から始まりましたが、夏以降はサブプライムローン問題、リーマンショックを始めとするアメリカの金融危機が勃発。日本でも年初とは一転し、不景気風が吹いています。大企業のリストラ、内定取り消し...

本年度も当然厳しい状況は続くことでしょう。マスコミも益々不景気を煽り立てることでしょう。暗い話題に終始することでしょう。なぜならば、不幸やマイナス面は人の同情や共感を呼び起こします。

しかし反面、着実に業績を伸ばしている企業も存在している筈です。勝ち組、負け組と言う言葉は使いたくありませんが、世間の浮き沈みの波に左右されずに淡々と事業計画を遂行している企業もある筈です。

私達もそうありたいと願っております。また、私共のお取引先様もそうあって欲しいと切に願います。人や社会のお役に立つことを誠実に遂行すれば、人や社会から評価され世間から淘汰される企業にはならない気がします。

私共のできる事は毎年書いていますが、環境衛生の分野でお客様に最大限の貢献をすること以外にありません。その為に本年のFCCは原点を追及します。ゴキブリ駆除効果NO.1、最後の1匹まで責任を持つ姿勢、環境を汚染しない駆除や衛生関連商品販売。

皆様の発展にお役に立ちます。こんな情勢だからこそ、明るく前向きに元気にやって行きたいと思えます。

本年度もどうぞよろしく願い申し上げます。

2009年元旦
株式会社FCC

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。昨年、営業にお伺いいたしました会社・店舗のご担当者様には貴重なお時間を頂き、感謝しております。ありがとうございました。また、本年も営業にお伺いいたしますお客様方には、元氣よく挨拶をし、笑顔でお伺いいたしますので、今後とも株式会社FCCを、宜しくお願い申し上げます。

営業部 主任 高梨 昌伸



新年明けましておめでとうございます。昨年度は大変お世話になり、ありがとうございました。

本年度も更にお客様の事を第一に考え、迅速な対応を心掛けていきます。更なるお客様満足の向上を目指し、より質の高いサービスをお届けしたいと思っております。本年度も、どうぞFCCを宜しくお願い申し上げます。

サービス部 主任 阿部 浩之



新年明けましておめでとうございます。昨年中はFCCをお引き立ていただき、誠に感謝いたしております。本年も施工部スタッフ一同力を合わせ、より質の高い施工技術や環境衛生コンサルタントとしての知識、教養、社会人としてのマナーを身に付けて、お客様にサービスを提供し、お役に立ちたいと考えております。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

施工部 係長 佐野 操



新年明けましておめでとうございます。昨年度は、皆様方に変なお世話になり、誠にありがとうございました。本年度も、お客様満足の向上を第一に、より高いレベルの施工技術の向上を目指し、今年も日々努力をし続けて参ります。又、一つ上の質の高いサービスのご提供もしていきたいと思っております。ご要望等がございましたら遠慮なく、お声を頂戴できればと思っております。本年も何卒、宜しくお願い申し上げます。

施工部 主任 入内島 博



新年明けましておめでとうございます。旧年中は、格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。まだまだ至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけした部分も多々あったかと存じます。皆様方のご要望により誠実に対応し、ご満足いただけるよう精進を重ねて参る所存でございます。本年も、何卒宜しくお願い申し上げます。

管理部 主任 水島 聡



FCC スタッフより 新年のごあいさつ



衛生トピックス

「ノロウイルス注意報発令中」

先月23日、38人もの方が嘔吐や下痢の症状を訴えました。原因はノロウイルスで、この冬初の被害報告になります。

皆様もご存知のように、ノロウイルスは毎年冬季に猛威を振るう、代表的な食中毒です。2007年度には1年間で12,555人もの感染者を出しました。

ノロウイルスは、暖かい季節に多い他の食中毒とは異なり、1~2月にピークを迎えます。一度発生すると多数の感染者を出し、時には100人以上の人に被害をもたらす事もある程、驚異的な感染力を持ちます。

1~2日程の潜伏期間を経て発症し、主な症状として嘔吐や下痢、その他頭痛、腹痛、発熱、悪寒、筋肉痛、倦怠感を伴う事があります。

さらに恐ろしいのが2次感染です。症状が回復した後1週間ほどは便中から菌が排出されますので、注意が必要です。

対策としては、手洗い、十分な加熱、調理器具の消毒が有効です。万一感染者が出てしまった場合は、その嘔吐物の処理に十分に気をつけて下さい。

~加熱処理~
85℃1分間の加熱で菌は死滅します。

~調理器具の消毒~
調理したまな板や包丁などの器具は、別の食材を調理する前に、次亜塩素酸ナトリウムの漂白剤又は1分間以上の煮沸にて消毒します。

~感染者の嘔吐物の処理~
嘔吐物を処理する際は、ビニール手袋やマスクを使用します。床面は次亜塩素酸ナトリウムの漂白剤の含ませた布で覆い、消毒した後処理して下さい。

処理後の布は次亜塩素酸ナトリウムの漂白剤に浸け置きし、消毒しましょう。また、嘔吐物の付着した衣類は他の衣類と分けて洗います。

~次亜塩素酸ナトリウムの使用方法~
既にウイルスに汚染されてしまっている環境に対しては、500~1,000ppm (0.05~0.1%) の高濃度で使用します。予防の為には、調理台・調理器具や床を200ppmの次亜塩素酸ナトリウムで浸すように拭きます。

★消毒の際の注意点

- ・金属を腐食するので対象により使用できません。
- ・有機物を強く腐食するので、ゴム手袋を着用し、素手で触れないようにしましょう。
- ・効力の低下が早いので、作り置きはしないようにしましょう。
- ・開栓後日数が経つと、消毒効果が低下する場合があります。
- ・酸性にすると有毒なガスを発生します。

ノロウイルスを始めとする食中毒の対策の為の次亜塩素酸ナトリウムは弊社でも取り扱っております。ご入用の際はお気軽にご連絡下さい。

地球の環境衛生を創造する
株式会社 FCC
fine, comfortable & creative

株式会社 FCC

住所：神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

電話 0466-31-3164

FAX 0466-31-3174

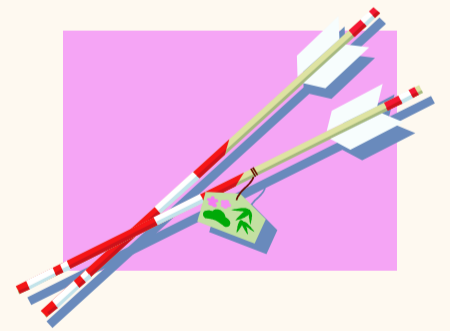
URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail info@fccsystem.co.jp

FCC News

2009年1月号

NO.0059



- 目次 -

新年のごあいさつ

季節のムシ暦⑭
『年中飛び交う害虫ユスリカ』にご注意！

Let'sエコドライブ

衛生トピックス
「ノロウイルス注意報発令中」

環境コラム
~大気汚染~

ご存知ですか 衣裳 (じしょう) のムシ

今年、食の世界で、食の信頼を揺るがす、事故が続いた。そんな中で、「清食品」製の「カップヌードル」を食べて嘔吐「おうと」した事故のあった事を覚えていた人も少なく無いと思う。この原因物質は、「一般家庭で使用されている 防虫剤」の有効成分である、「パラジクロロベンゼン」と云う化学物質である。では、何故、一般家庭において、パラジクロロベンゼンやナフタリンなどが、問題になる程、使われているのだろうか。

今日では、住環境や生活スタイルが変り、「一般に 衣替え」あるいは「虫干し」などと云う、季節の節目の行事が姿を消した。しかし、これ程の習慣や行事は、日本の風土に育った、和服文化に欠かせない事であったのだ。この日本の風土は、衣裳、衣類、繊維の虫にとっては、格好の条件を備えて居り、何をおいても欠かせないのが、「オガ」、「ヨイガ」である。この虫は、動物のはく製や動物性の乾燥品を食い荒らす害虫である。では、問題の虫、「オガ」について紹介する。



【写真説明】

上はイガの成虫。下はイガの幼虫、ケースに入って活動する。

イガは、ヒロズコガと云う「蛾」の仲間。世界に広く分布がある。英名をケース・ベエリング・フロース・モスと云い、これは、大れものを造り出すガの意味で、この虫の特徴をよく示している。成虫は、翅を開くと10〜14cmで全体が、淡灰褐色で前翅は、絹のように光る綺麗「きれい」な虫である。生活史は、年に2〜3回発生する。成虫が姿を見せるのは、4月から10月にかけてであるが、幼虫は、絹織物や毛織物などの繊維を食害しつつ成長を続ける。この幼虫は、食餌の繊維を綴り合せ、両端が開いた巢筒を作り、半身を出して移動や摂食活動をする。老熟した幼虫は、吐糸して巢筒の一端を固定して蛹化する。また、ある期間を経過すると他の開口部より羽化脱出します。

イガの発育速度は、温度によって違いますが、卵期間は20℃で12日、25℃で8日、30℃で6日と温度が高くなるに従って、短くなる。孵化から成虫羽化までの所要日数は27℃前後が最も短く、38日である。また、発育零度「発育しなくある温度」は、15℃と云われている。

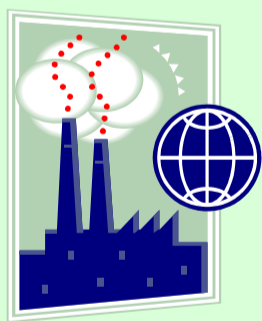
いずれにしても、イガの幼虫は、毛織物、毛皮、絹織物あるいは敷物を食害する大害虫である。この防除のために、昇華性防虫剤、蒸散性防虫剤を使用したり、防虫加工剤を用いる。家庭用として広く用いられているのが、昇華性防虫剤である。これには、パラジクロロベンゼン、ナフタリン、樟脳があるが、今日広く用いられているのは、パラジクロロベンゼンである。

この効果だが、パラジクロロベンゼンの飽和ガスによる50%致死時間は、1時間55分と、他のものよりも著しく即効性に優れていた。また、パラジクロロベンゼンは、昇華速度が早く、近辺の食材などに移香する事もあるので、使用時に注意が要る。

今回のパラジクロロベンゼンの事故は、生活の場の虫、「オガ」のもたらせたものだと言える。虫の管理には、様々な情報の必要な事を示唆するものである。

環境コラム 大気汚染

野山や海に出かけた時、空気が美味しいな〜と「星空がきれいだな〜」と感動を覚えたことはないでしょうか？



普段から都会の汚染された空気に馴染んだ人が、都会と比較して澄んでいる空気にふれると、そう感じるのでしょうか。そうです、今、都市圏は汚染されていない場所の空気が美味しいと感じられるほど、大気汚染が進んでいるのです。

大気汚染とは、人間の経済活動や社会活動に基づく物質の燃焼などの影響で大気が汚染される事を指して言います。

今回は、原因の一つである「残留性有機汚染物質 POPs」に関して取り上げたいと思います。

主なPOPsには、「酸性雨」、「兎学オキシダント」、「窒素酸化物」、「粒子状物質」、「硫酸酸化物」、「二酸化炭素」等が挙げられます。

これらにPOPsに共通して言えることは、「有毒」かつ「自然中で分解されにくく、発生源から遠くまで移動しやすい」事です。

その為、大気汚染物質が特に排出される都会を中心に世界の隅々にまで拡散し、人間を含む動物の体内や植物にも大気汚染物質は存在しています。

近年、ぜん息やアトピー性皮膚炎、花粉症等が増加傾向にある原因の一端はこの大気汚染物質にあると言われています。

その大気汚染物質は、数百km、数千kmもの長距離を移動します。その為、一国のみでの対策では意味を成しません。

2005年には、残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約「POP条約」が締結し、国際的な取り組みも始まっています。

ある人は「我々は化学物質のスープの中で暮らし、息をしている」と表現したそうです。まさにその通りだと感じます。この状況を少しでも改善しない限り、私たちの明るい未来は無いと言っても過言ではないのかもしれない。

Let's エコドライブ

地球温暖化問題において、一番大きな課題がCO2(二酸化炭素)の削減です。

このCO2の排出量を減らすには、石油を始めとする化石燃料の消費を減らす必要があります。運輸にまつわるCO2排出量は全体の21%にも及びます。とりわけ自家用車からの排出量が約半分を占めており、問題となっています。

政府の地球温暖化対策推進本部が立ち上げた国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」が提唱する「6つのアクション」の一つに、「エコドライブ」があります。

先月号では、運転の際のエコドライブの心掛けについて掲載しました。今月号では事前のチェックについて取り上げてみましょう。

☆交通情報を事前にチェックしましたか？

お出かけの前には、渋滞情報等のスムーズな交通の妨げになりそうな情報を予めチェックしておきましょう。

また、走行中もカーナビやカーラジオにより随時交通情報を確認しましょう。1時間の走行時に道を間違えて10分余分に走行すると、約14%の燃料悪化に繋がります。

☆タイヤの空気圧は足りていますか？

タイヤの空気圧が適正値より50kPa不足すると、市街地で約2%、郊外で約4%の燃費の悪化を招きます。また、安全性にも関係してきますので定期的にチェックするようにしましょう。

☆不要な荷物はありますか？

荷物の重さにより、燃費に大きな影響を及ぼします。例えば、100kgの不要な荷物を載せて走行すると、燃費は約3%悪化します。普段から必要のない荷物は下すようにしましょう。

運転技術には

個人差もありま
すし、車種によ
る違いもありま
す。自分なりの
エコドライブ

「ブ」を見つけて
みてはいかがで
しょうか。

